

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	新しい職員や、認知症を理解できていない職員がおり、個別で統一した介護が出来ていない。	全職員がご利用者様の生活歴や今、抱えている問題等、理解し同じ目標を持ち統一した介護ができるようになる。	レクリエーションを活用しご利用者様の希望や思いを聞き出し、できる範囲内ではあるが、叶えていく。ご利用者様の生活歴など、職員が確認しやすいよう介護記録にファイルする。	6ヶ月
2	23	独自の研修で動画を視聴し認知症を学ぶ機会はあるが、活用して実施出来ている職員と出来ていない職員とで、レベルの差が出来ている。	動画をただ視聴するのみではなく全職員が実施できるようになる。	研修を実施し認知症の理解に努める。実践状況の確認と評価を行う。	6ヶ月
3	36	職員の意識レベルに差があり、ご利用者様のプライバシーや尊厳が十分に保れているとは言えない。	全職員が同じレベルでご利用者様に対し統一した対応が出来るようになる。	社内研修を通して全職員にご利用者様に対する接し方を学んでもらう。また、朝礼時に社内クレドを唱和して浸透していく。	4ヶ月
4	10	新型コロナの影響で緊急事態宣言が発令され全く外部との接触が出来なくなることがある。ご利用者様の様子をご家族様にお伝えできにくくなっている。	ご家族様に安心して頂けるよう、ご利用者様の近況を詳しくお伝えする。	現在は毎月お写真を数枚、郵送にてお届けしている。オリジナルの広報誌を作成し、ご利用者様の近況や施設の取り組みなどをお伝えしていく。	6ヶ月
5	35	災害時の備蓄品の把握が出来ていない。消防機器の取り扱い方法が一部の職員しか知らない。	年2回の防災訓練以外でも、防災に関するマニュアルを活用し研修を行うことで職員の防災に対する意識を高める。	備蓄品や保管場所のリストを作成する。消防機器の取り扱い方法や、ハザードマップを添付し職員が確認しやすい場所に設置する。	3ヶ月

6	49	新型コロナの影響で外出が出来ない。	施設の外に出なくても楽しめる場所を施設内に作る。	プランター等を購入し屋上で花を育てる。ご利用者様に水やりを手伝ってもらい、植物の成長を楽しんでもらう。おやつを屋上で食べて頂けるようなスペースを作る。	4ヶ月
7	40	クックチルの食材で、食事の準備と言える程の事はない。人員の確保が難しく、ご利用者様と一緒に出来る様な時間的余裕がない。	食事の後片付けだけではなく、準備の段階から日常的にご利用者様に参加して頂ける機会をつくる。	食器を見直し、プラスチックの器から陶器の器に変更する。毎月1回お誕生日会を開催し、手作りケーキにフルーツの飾りつけをして頂いている。出来る方には日常の食事の盛り付けをお願いする。	1ヶ月
8	4	運営推進会議を開催しているが、議事録等を外部や地域の関係各所へお届け出来ていない。	新型コロナ終息後は速やかに、ご家族様、自治会長、民生委員、連携病院の相談員、薬剤師、いきいき支援センターの職員を招いて開催する。	現在は新型コロナの影響で関係各所を招いての開催は不可能だが、施設内職員のみで開催している。詳細は議事録にまとめ郵送や持参等でお伝えしていく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。